

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

山陽乳業株式会社

(2) 事業所の所在地

広島県三原市南方一丁目2番1号

(3) 業種

処理牛乳・乳飲料製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、2017年を基準年度とし、2019年度から2023年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：**製造量牛乳換算値(t)**

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成29年度	令和5年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
エネルギー 起源CO2	0.060	0.060	0.058	0.050	0.046		
非エネルギー 起源CO2		0.0	3.8	16.0	23.0	100.0	100.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計	0.060	0.060	0.058	0.050	0.046		
エネルギー消費原 単位 (原油換算 kl)	0.02265	0.0275	0.0226	0.02093	0.01988		
		21.4	0.2	7.6	12.2	100.0	100.0
実績に対する 自己評価	ボイラー3基のエコノマイザーを更新して給水温度効率が上がって重油使用量削減した。 アイスビルダー350型の東側を高効率に更新したことによって消費電力が下がった。 アイスビルダー60型停止したことによって使用電力が下がった。						

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1	燃料使用量の削減	2021年度6月からの取組み	ボイラー3基のエコノマイザーを更新した。
2	電気使用量の削減	2021年度5月からの取組み	2槽式アイスビルダー350型（蓄冷装置）東側6台の冷凍機をインバーター制御の高効率機器に交換した。
3	電気使用量の削減	2021年度4月からの取組み	2槽式アイスビルダ350型西側、東側冷凍機を更新した事により、アイスビルダー60型冷媒R-22の稼働停止した。
4	電気使用量の削減	2021年度3月からの取組み	本冷蔵庫 No. 1、No. 2の冷媒R-22の冷凍機からインバーター制御の冷媒R-410の冷凍機に更新した

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1	燃料使用量の削減	2021年度5月からの取組み	果汁製品切り替え（4回）時は蒸気（10分間）を使用していたが、殺菌水に変更して重油使用量を削減した。
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記入してください。